



#宇城で発信しよう

お気に入りの写真が撮れたら SNS で情報発信するだけで、あなたはすでに宇城市の広告塔

POINT
検索する立場で考えて # を付けよう

付けて投稿
ハッシュタグを

宇城がハッシュタグを

グルメ情報は

宇城カフェ # 宇城市カフェ
宇城グルメ # 宇城市グルメ
宇城ランチ # 宇城市ランチ

市内のすてきな場所は
#uki_uki_uki

宇城市公式 Instagram

企業・事業所の皆さまへ
ふるさと納税の返礼品を募集します

自慢の商品を全国に PR しませんか。市の魅力度向上にご協力をお願いします。

まずはお電話を。
☎ 企画課 32-1902

魅力ある宇城市に

みんなで協力しよう

全国に知ってもらおう

まずよね。宇城市では何ができるのかを外部の方に想像させなければなりません。自分たちの強みをターゲット別に具体的に示せることが大事。「自然がある」ではなく、どういう自然があるのか、何ができるのかを具体的に伝えることが人々の記憶に残り、想像をかき立てます。

例えば、戸馳島では洋ランやジビエなど、世間がその価値に気付き始めたことに対し、すでに取り組んでいる方々もいらつしやいます。島を一つのブランドと考え、「ここではこんな体

験ができる」と紹介することで、島を思い浮かべるイメージへとつながります。

市内の情報海・山・果物版などグループ化して発信することも有効です。そして、市は常に情報を出せる状態にしておきたいですね。

強みを掛け算する

先日、地域のブランド調査が発表されました。これを見ると、コロナ禍で人々の価値観が変わり、おしゃれな都会へというよりも、自然があり、人

の距離が取れて、のんびりできる地域が注目され始めているのが分かります。また、移住希望者の関心度が高い市町村ランキングでは、新潟県三条市が1位に。ここは、職人のまちで、体験やお試し移住をセットにして PR されています。新しいことではなく、自分たちの強みや実際にやっていることを掛け合わせることで魅力を増やされています。以前は都市部から新幹線で行き来しやすい場所が移住先として人気でしたが、コロナがあり、皆さんが移住するならど

こがいかを真剣に考え始めたのではないのでしょうか。

当事者目線で「ふるさと納税をする」「旅行者になる」と考えると、宇城市に足りないことや補強が必要な箇所が分かってきます。

まずは認知度向上から。知ってもらってから全ては始まります。好きになってもいい、磨きをかけ、そしてファンになってもらう。

行政、市民、みんながベクトルを合わせ、同じ目標に向かって取り組んでいきましょう。

想像させる工夫を



ふるさと納税というと、返礼品に目を向けがちですが、それはあくまでも地域を応援してくださる方へのお礼であり、自治体をアピールする手段の一つです。ふるさと納税の仕組みや意味を考えると、「返礼品を通して市を知っていただく」「寄付金が市や市民のために活用される」「市が磨かれる」「おもてなし力

アップする」「さらに魅力ある返礼品を提供できる」と、プラスの循環を生み続けていくことが重要だと分かります。寄付金を活用し、来訪者にとって魅力的なまちになり、さらにいい返礼品が作れる環境を整え、市民の生活向上にもつなげていかなければなりません。根底にあるのは「宇城市に関わる全ての人の幸せのため」です。

地域の当たり前前は、地域外では特別であることが多いです。例えば、宇城市へ来て驚いたことは「タケノコはもうもの」という常識。加工すれば商品になる可能性があります。何気なく身の回りにあるものには「価値があるのでは？」と一度疑ってみることが大切ですね。

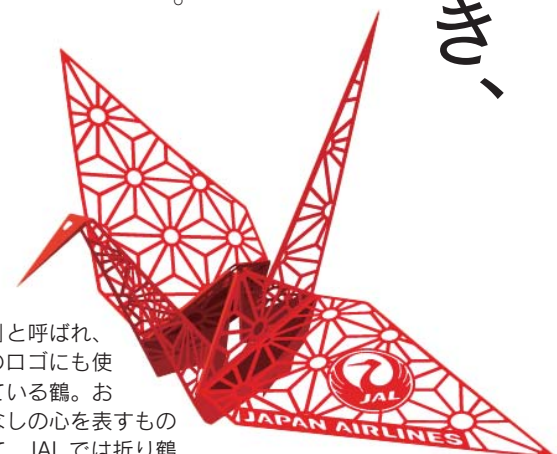
豊かな環境と多種の農産物。見せ方の工夫で、変化する可能性を秘めているものが市内にはたくさんあります。また、同じ要素を持つものをまとめてテーマ化し、情報発信していく必要があると思います。

どこかに行きたいと思ったら、まずは何をしたいかを考え

プラスの循環を生み出す

4月から総務省の「地域おこし企業人交流プログラム」で本市へ出向している JAL セールスの大田圭子さんが話してくれたのは、応援される好循環を生み出す秘訣。

グループが持つ知見、経験、技術の活用などを通じて地域のさまざまな課題解決に取り組む日本航空（JAL）。ふるさとへの想いを大切に地域とのつながりを育み、持続可能な地域社会の実現に向けて活動しています。



「鶴丸」と呼ばれ、JAL のロゴにも使われている鶴。おもてなしの心を表すものとして、JAL では折り鶴が使われています。

当たり前を疑う

企画部 (JAL セールス)
大田 圭子さん

平成3年 JAL グループ入社。空港勤務、広告デザイン・イベント企画など国内販売宣伝業務を担当。市では企画部に所属し、情報発信の改善などの業務に携わる。

おむすびサンは、大田さんが手掛けた消しゴムはんこ。

